

団長、副団長、コンマス インタビュー

めぐろカンタービレ!!

～パーシモンホールで活躍! 知る人ぞ知る目黒区民交響楽団～

公演には、特に若い人に来て欲しい。



▲コンサートに向けて練習する楽団の皆さんにインタビューしている様子です。公演のことから楽器のことまで、丁寧に教えていただきました。「弦楽器より、管楽器の方が息を吹き込んでから音を出すまでに時間がかかります。そういったちよとした感覚の差も、長年の経験やみんなで練習を繰り返すことで埋まり、タイミングも合ってきます」とチームワークの良さをお話してくださったコンマスの三谷さん(左)と団長の望月さん(中央)と副団長の橋本さん(右)。

Q 主にどこで公演をされていますか？

A パーシモンホールです。パーシモンホールがまだ建設されていなかった頃、区外の公会堂で演奏したこともありましたが、区外の公会堂

Q 一曲仕上げるのに、どれくらいの期間をかけていますか？

A 半年に1回の公演があるので、半年間くらいです。週1回、つまり、25回練習します。直前になると1日練習も行います。

Q 選曲は誰が行っていますか？

A まず、楽団内でアンケートを実施してみんなの意見を伺っています。楽団では、特に若い世代の方に来て欲しいので、知名度の高い曲を選曲したりしています。最後は指揮者と相談しています。目黒区はクラシック好きの方が多くいると感じていますが、クラシック曲オンリーではなく、選曲は聴きに来てくださるお客さん

に、喜んでもらうことを常に第一に考えています。

Q 緊張したりしないですか？

A 緊張する人もいれば、しない人もいます。でも、みなさん演奏を始めたら、緊張は解けるそうです。

Q 一番難しい楽器は何ですか？

A 楽器によって難しいところがそれぞれ違います。そのため、易しい楽器というものは無いと思います。

Q 肺活量を鍛えるために、何か行っていますか？

A 単に肺を動かすだけではなく、例えば太いドラム缶の中を空気が行ったり来たりするイメージ。特に腹筋を鍛えています。

Q ヴァイオリンを弾くとき、耳は痛くならないですか？

A 長い間弾いていると、難聴になったりすることもありますが、ヴァイオリンに限らず、打楽器側は振動がすごいですね。

Q チューニングはなぜオーボエがするのですか？

A 実は楽器の中で、オーボエが一番チューニングを合わせにくいからです。

Q 基礎練習はどんなメニューですか？

A 主に個人で基礎練習を行います。指揮者からの指示を受けたりすることもあります。

Q 練習中に意識することはありますか？

A スコアを見て研究↓書き込む。ソロがある場合、特に念入りに。スコアも指揮も見なければならぬから、ある程度覚える。

Q オーケストラの並び方はどうやって決めているのですか？

A 指揮者の好みですね。

Q 楽団のコンサートに訪れるお客さんは、どんな方が多いですか？

A 男女比は判らないですが、年配の方が多くいらっしやいます。楽団としては、若い方にも聴きに来て欲しいと思っています。

Q 団員は、みな目黒区民ですか？

A メインは目黒区民ですが、区外の方も多く参加されています。音大卒の方も5人ほどいらしゃって、趣味の範囲の方だけでなく、本業でやられている人もいます。

Q 団員の方から見ると、楽器とはなんですか？

A 家の家具のようなものだと思います。

Q 団員はどこで募集していますか？

A ネットで募集しています。ぜひ、みなさんのような若い方に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

——お忙しい中、ありがとうございました。



●楽団のみならず、ほぼすべての方が趣味で音楽をやったりしゃると伺い、とても驚きました。将来のことは決めていませんが、自分のやりたいことを趣味にできたらいいなと思いました。(慧理那) ●楽器ができる人ってすごいなと思い、自分のやりたいことをする姿に感動しました。(亜実果) ●実際に練習しているところを見て、とても迫力もあってすごいなと思いました。(あい) ●オーケストラの音を近くで聴き音色の多彩さに驚きました。(琴里) ●普段はクラシック音楽皆無な生活を送っていたのですが、今回生でオーケストラの演奏を聴けたことと、楽器についての貴重なお話も伺えてとても楽しかったです。(由紀)